

日本医師会生涯教育講座 (2単位 0,10.15 申請中)  
(公財) 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定  
(一社) 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

## 疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進の講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内  
厚生労働省  
北海道  
(一社) 北海道医師会  
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、北海道、一般社団法人北海道医師会及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会を下記により開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

### 記

1 日時 平成30年11月17日(土) 午後3時～午後6時15分

2 場所 TKP札幌駅カンファレンスセンター  
札幌市北区北7条西2丁目9

### 3 内容

コーディネーター

講演	KKR札幌医療センター副院長 「疼痛緩和におけるオピオイドの役割」 和歌山県立医科大学附属病院 准教授	瀧川	千鶴子	先生
講演	腫瘍センター緩和ケアセンター副センター長 「医療用麻薬使用者に対する薬学的関与について」	月山	淑	先生
講演	KKR札幌医療センター 抗菌認定薬剤師 「在宅緩和ケアと地域連携」	梶原	孝弘	先生
	(株)メディカルシステムネットワーク 地域薬局事業部	土井	真喜	先生
講演	「最近の麻薬行政について」 北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課専門員	服部	達哉	先生
質疑応答	パネルディスカッション まとめ 「ケミカルコーピングを意識する」			
	KKR札幌医療センター副院長	瀧川	千鶴子	先生

4 対象者 医療関係者(160人)

5 参加費 無料

6 主催 厚生労働省 北海道 (一社) 北海道医師会  
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 (一社) 北海道薬剤師会 (一社) 札幌市医師会

8 協賛 麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和発酵キリン、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

9 事務局 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (富澤・白井)  
電話 03-3581-7436

### 10 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ (<http://www.dapc.or.jp>) よりお申し込みください。

11月15日(木)まで受け付けますが、定員に達し次第締め切ります。

【医療関係者対象の講習会】

「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」  
参加申込書（FAX）

申込先FAX番号：03-3581-7438

平成 年 月 日

会場	TKP札幌駅カンファレンスセンター		
日時	平成30年11月17日（土） 午後3時～午後6時15分		
ふりがな			
氏名			
職種	医師 歯科医師 薬剤師 看護師 その他の医療関係職種（ ）		
所属	病院 診療所 保険薬局 その他（ ）		
住所	都道 府県	市区 町村	
連絡先	FAX：（ ）	—	
	TEL：（ ）	—	
	Eメール：	@	
受講証明	<input type="checkbox"/> 医師生涯教育講座 <input type="checkbox"/> 薬剤師研修センターシール <input type="checkbox"/> 緩和医療薬学会シール		
質問  (講習会の最後に パネル形式で質疑 応答を行いま す。)			

- (注) 1 この申込書の個人情報、本講習会関係事務以外には使用いたしません。また、お送りいただいた申込書は講習会終了後速やかに破棄いたします。
- 2 ご希望の方には、財団発行の受講証明書をお渡しいたします。
- 3 お申し込みが多い場合は、臨床の医療従事者の方の受講を優先いたします。このため、製薬会社にご所属の方については、受講をご遠慮いただくことがありますのでご承知おきください。その場合は、11月12日までにFAXでご連絡します。
- 4 受付票は発行しません。定員超過の場合はご連絡します。